課題研究自己評価シート（ルーブリック）

評価日（2/8　課題研究発表会終了後　黄色）____組_____番　氏名_____．

定義	「8の力」の定義と17の項目	評価の段階			
力の	身につけたい内容	4	3	2	1
	問題を発見する力				
問題を発見する力	**該当の分野の基礎知識や先行研究の知識が多い。（知識・理解）**	該当の分野全般において知識が充実している	該当の分野の先行研究については，知識が充実している	該当の分野の先行研究についても，十分な知識がない	該当の分野の先行研究についても，調べていない
	「事実」と「意見・考察」を区別できる。（思考・判断）	他者の説明を聞いたり読んだりするとき「事実・出来事」と「意見・考察」の部分を適格に区別して考えている	他者の説明を聞いたり読んだりするとき「事実・出来事」と「意見・考察」の部分がほぼ区別できる	他者の説明を聞いたり読んだりするとき「事実・出来事」と「意見・考察」の部分を区別できないことがある	他者の説明を聞いたり読んだりするとき「事実・出来事」と「意見・考察」の部分をほとんど区別できない
	「既知と課題の区別」 自分にとっての「未知」（課題）を説明できる。（思考・判断）	「既知と課題の区別」ができて自分にとっての「未知」（課題）を説明でき、自己の具体的な課題ととらえることができる	「既知と課題の区別」ができて自分にとっての「未知」（課題）を説明できるが、自己の具体的な課題ととらえることはできない	「既知と課題の区別」が曖昧なため自分にとっての「未知」（課題）を説明ができない	「既知と課題の区別」ができないため自分にとっての「未知」（課題）がなにかわからない
	未知の問題に挑戦する力				
未知の問題に挑戦する力	**自らの課題に対して意欲的に努力することができる。（意欲・関心・態度）**	生じた課題や疑問を他者にメール等で尋ねたり、文献やネット等で調べたりして解決できる	生じた課題や疑問を自分で文献やネット等で調べだいたい解決できる	生じた課題や疑問を自分で文献やネット等で調べるが解決に至らないことが多い	生じた課題や疑問を自分で文献やネット等でも調べたことがない
	「計画性」問題点の関連から取り組む順序を考えることができる。（思考・判断）	実験や調査や課題に取り組むとき，しなければならないことの順番を決め、計画を書き記してから取り掛かる	実験や調査や課題に取り組むとき，しなければならないことの順番は決めるが、計画を書き記しさず取り掛かる	実験や調査や課題に取り組むとき，直近にしなければならないことだけ考えて取り掛かる	実験や調査や課題に取り組むとき，何をしていいかわからず取り掛かれない
	知識を統合して活用する力				
知識を統合して活用する力	**「関連性を見出し分類」データの構造化が（メモ・箇条書き・分類・図式化等によって）できる。（思考・判断/技能・表現）**	データーを適格に構造化し（箇条書き・分類・グラフ化・図式化・数式化など）できる	データーをある程度構造化ができる	データーを構造化が十分にできない	データーを構造化ができない
	分析や考察のために，適切な道具（機器やソフトウェア）を使うことができる。（知識・理解/技能・表現）	分析や考察に適切な道具（機器やソフトウェア）を適切に使うことができる	分析や考察に道具（機器やソフトウェア）を一部使うことができる	分析や考察に（機器やソフトウェア）をほとんど使うことができない	分析や考察自体ができない
	問題を解決する力（まとめる力・理論的な背景）				
問題を解決する力	**「論理的な完全性の追求」学会等で通用する形式の論文を書くことができる。（思考・判断/技能・表現）**	形式の整った論文を作成し、その中に適切なデータ等の示し方ができ信頼性を担保できる	ある程度形式の整った論文を作成し、その中に適切なデータ等の示し方ができる	形式の整ていない論文を作成し、データ等の示し方が十分でない	論文が作成できず、データ等が示されてない
	問題解決に関する理論や方法論についての知識が多い。（知識・理解）	生じた問題を解決するため問題解決の手法（目的手段分析，クリティカルシンキング，PDS，PDCAなど）で問題を分析し解決できる	生じた問題を解決するため問題を分析することができ、解決しようとする	生じた問題を解決するため問題を十分に分析できないため、解決に至らない	生じた問題を解決するため問題を分析できず、解決しようとしない
	交流する力				
交流する力	**積極的にコミュニケーションをとることができる。（意欲・関心・態度/知識・理解）**	発表会やレポートでは積極的に主体となって発表し、質問に対しても積極的に説明する	発表会やレポートでは発表に加わり、質問に対しても問われたら説明する	発表会やレポートでは消極的であるが加わり、質問に対して答えようとしない	発表会やレポートに無関心で、参加の意欲が見られない
	発表会や協同学習・協同作業の場において，「責任」と「義務」が自覚できる。（意欲・関心・態度）	グループ活動では，リーダーとして役割分担を行なったり、中心的な役割を受け持つことができる。	グループ活動では，役割が決まれば責任をもって取り組むことができる	グループ活動では、与えられた役割を果たすことができないこともある	グループ活動では，役割からのがれるか役割を果たさないことが多い
	発表する力				
発表する力	**「準備時」発表のために，必要な情報が抽出・整理された資料を作ることができる。（思考・判断/知識・理解/技能・表現）**	あらかじめ整えた資料から抽出・整理して発表のため効果的かつ適切な分量の原稿（発表原稿や要旨）を作ることができる。	あらかじめ整えた資料から抽出・整理して発表資料を作るが不十分であったり適切な分量でなかったりすることがある	資料から抽出・整理して発表資料を作ることが苦手である。	発表資料を作ったことがない
	「発表時」発表の効果を高める工夫ができる。（技能・表現）	発表の効果を高める工夫（メモを見ない，ジェスチャーを交える，語りかける，聞き手に応じてわかりやすく説明する等）が十分できる	発表の効果を高める工夫がある程度できる	発表の効果を高める工夫を行おうとしているが十分でなく、メモを見ないと発表できない	発表の効果を高める工夫をしたことがない
	質問する力				
質問する力	**疑問に思う内容を，質問を前提にまとめることができる。（思考・判断）**	発表会等で聞き手として参加するとき疑問に思う内容を，質問を前提にまとめることができる	発表会等で聞き手として参加するとき，疑問に思う内容を質問に変えることができる	発表会等で聞き手として参加するとき，疑問に思う内容があっても質問できない	発表会等で聞き手として参加するとき，疑問に思うことがない
	「伝えること」発言を求めることができる。（思考・判断/技能・表現）	発表会等で聞き手として参加するとき疑問が生じたら積極的に質問し，議論しようとする	発表会等で聞き手として参加するとき疑問が生じたら質問するが，解決できなくても追質問はしない	発表会等で聞き手として参加するとき疑問が生じても声をかけられないと質問しない	発表会等で聞き手として参加するとき疑問が生じても，声をかけられても質問しない
	議論する力				
議論する力	**「予測して調査・資料の作成」論点になりそうなことの準備ができる。（思考・判断）**	発表会での発表や質問に対して、質問される内容を予測し、十分な資料等を準備できる	発表会での発表や質問に対して、質問される内容を予測し、ある程度資料等を準備できる	発表会での発表や質問に対し、質問を予測できず、資料等も十分に準備できない	発表会での発表や質問に対して、質問を予測できず、資料等を準備しない
	発表や質問に対して議論を進めることができる。（思考・判断/知識・理解）	相手の発表や質問に対し客観的な根拠を示し回答する。また，議論がかみ合うように相手の反応に対応し，議論の継続に努力する	相手の発表や質問に対し回答できる。また，相手の言い分も聞き議論を進行できる	相手の発表や質問に対し回答できる場面もある。また，相手の言い分も聞き議論を進行できる	相手の発表や質問に対し回答しない。また，相手の言い分も聞かず議論がなりたたない

評価できない項目は評価しない